



## 本当の御守

エマニュエル ポポン神父

十字架はよく飾りとして付けられています。信者であれば、御守りとしてでも付ける人は多いです。世界を見たら、宗教によってその形が異なりますが、それぞれの御守りがあります。受難と復活祭を通して、優秀な御守りを手に入れられました。その御守りは人の手で作られたものではありません。普通の御守りと全く違います。でもその御守りが効くようになるためには、その御守りの力を信じなければなりません。そしてその御守りは、物ではないので、物に対して効果がなかなかありません。ただ心を守ります。そして神の命をもたらします。その御守りは無料です。信じるだけで身に付けられます。でも信じるだけでいいからこそ、身に付けるのが難しいです。

主イエスは私の御守りになりました。主イエスを素直に受け入れれば、彼は私たちを見捨てられません。御守りのように、イエスは私が道に迷った時、私のために神への道になってくださいます。受験、就職が成功するように願う時、彼は何かあっても神を信じ将来を怖がらないように安心させてくださいます。病気や大変な目にあう時、イエスは「私はいつまでも神の国であなたとともにいる。」と言ってくださいます。イエス自身が私の御守りです。彼の思いやりのある愛情が私の力と平和になります。

復活されたイエスは生きている御守りです。すべての生きているものを大事にする、すなわち生きているものに使えるように勇気を与えてくださいます。でも一番効果があるのは、悪を退ける時です。自分の中で悪の考えが発生する時イエスを考えることによって悪をちゃんと見分けることができます。それにしても、悪をわかっている悪を犯してしまった時、イエスを思うと立ち直りたくなります。そして自分の過ちを認め、プライドを捨て、ゆるしの恵を求めることができます。プライドが捨てられなかった時もあります。そこでイエスの力が現われます。イエスは私に十字架を見せます。十字架を見ると、プライド、高慢、暴力を感じます。主イエス、自分の暴力とプライドから、私をお守りください。

## 教会維持費について

いつも教会維持費へのご協力有難うございます。教会の運営やいろいろな活動を支える財源の中で最も大きな部分を占めるのが信徒からの教会維持費です。

カトリックでは教会の掟の一つとして「各々の分に応じて教会維持費を負担すべし」と定められています。いつも私たちと共に居られ、守り導いて下さっている神様に対する感謝の気持ちを私たちは金額の多寡に拘わらず捧げることが大事だと思います。住吉教会へ来られている方で教会維持費をまだ納めておられない方は可能な限りのご協力をお願いいたします。